



トライエスプログラム®

株式会社オリエンタル観光 本社営業所

2025年 9月度 教育研修記録簿

作成者：株式会社アスア 宮田 雅史

1.実施概要

- 開催日 : 2025年 9月16日(火)
- 開催時間 : 14時00分 ~ 21時00分
- 開催場所 : 2階会議室
- 実施者 : 株式会社アスア 宮田 雅史
- 参加状況 : 16名/16名 (参加率: 100.0% : 別紙参加者リスト参照)
- 法定12項目 :
- 教育区分 : **安全** 環境 労務 その他 (交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれ)

2.目標と進捗

■ 目標

- ① ミーティング参加率100% (欠席者 フォロー含む)
- ② 走行管理表の記入・提出100%
- ③ 安全教育の仕組みづくり

■ 進捗

No.	目標や課題		対応方法および進捗状況
①	目標	ミーティング参加率100% (欠席者フォロー含む)	【出席率】 9月度MTG出席率: 16/16人 欠席者: 無し 【対応方法】 ・ ミーティング周知ポスターの提示と声掛けと時間割の活用 ・ ミーティング当日の参加状況と管理 ・ ミーティング欠席者フォロー実施 →横急運輸のミーティング日に参加、参加出来ない場合自社フォロー
	課題	・ 参加状況の整理 (声かけや周知) ・ 欠席者フォロー体制の構築	
②	目標	走行管理表の記入・提出100%	・ 2024年4月度分より走行管理表の記入開始 ・ 車両担当者の設定 (車番ごとに車両担当責任者を決定) ⇒出席リストに記載 【2025年7月度記入率】 提出率: 100% ・ 燃費記入: 100%、月間燃費: 100% ・ 目標燃費: 80.0%、コメント: 86.7%
	課題	・ 走行管理表の記入・提出率100% ・ 運用ルールの構築	
③	目標	安全教育の仕組みづくり	・ 全員が意欲的にミーティングに参加できる環境を構築する →ミーティングへの参加の呼びかけや目的の共有 ・ 乗務員ミーティング内でのコメントを管理者ミーティングにて共有 →優先順位付けやフィードバック方法などを確立していく
	課題	・ ミーティング出席率 ・ ボトムアップとフィードバック	

3.乗務員ミーティング

■ 議題テーマ：「構内実地トレーニング・異常気象時の対応」

- ① 走行管理表の記入状況
- ② 燃費推移確認
- ③ 事故推移・事故共有
- ④ 前回の復習（性格別事故傾向）
- ⑤ 今回のポイント（異常気象時の対応）
- ⑥ 法定教育項目⑨交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法
- ⑦ 構内実地トレーニング（切り返し）

■ 今回のポイント

- ・ 万が一、自然災害に遭遇した場合、まずは自身と乗客の安全を確保する行動（安全な場所へ避難・情報の収集）が必要
- ・ ゲリラ豪雨時など無理な判断をせず、一度停車し会社に連絡して指示を仰ぐことなども必要
- ・ 実車を用い、構内での切り返しトレーニングの実施

車の運転

洪水・津波などで浸水した際の、水面から地面までの深さを浸水深といいます。浸水深が大きくなると、歩行や自動車の走行に支障を来だし、避難行動が困難になります。

車の運転について

浸水深	自動車走行
0～10cm	走行に差し、問題は無い。
10～30cm	ブレーキ性能が低下し、安全な場所へ車を移動させる必要がある。
30～50cm	エンジンが停止し、車から退出を図らなければならない。
50cm～	車が浮き、また、パワーウィンドウが作動せず、車の中に閉じ込められてしまい、車とともに流され非常に危険な状態となる。

※参考：千葉県水防安全対策推進計画

水たまりは見た目だけでは水深を測ることができない

©ASUA Co., Ltd All rights reserved.

項目9 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法

指導及び監督指針
(国土交通省「安全運転」)

道路交通法等の関係法令において禁止されている事項を確認し、習得が完了した後に、運転中に発生する事故等につながるような危険内容を確認しましょう。また、焦り、イライラ、怒りなどの感情がある運転者は、安全運転が難しくなり、ヒューマンエラーの原因になることも、運行管理者は認識しましょう。運転時、特にダッシュボードに注意や危険などの表示がある場合、運転中に手を取り確認するなど運転者の安全確保を図ることが必要です。

●(4)ヒューマンエラーを防ぐために

道路交通法が改正され、運転中の携帯電話等の使用や注視の「ながら」運転への罰則が 強化されています!!

安全な運転に必要な音又は声が聞こえていますか？
条例により聞こえない場合は罰則になる可能性があります！

安全な運転に必要な音又は言とは？
具体的には サイレン、警告音 のサイレン、警告音によるアナウンス・指示が該当します。

●条例紹介(神奈川県道路交通安全法施行規則第11条)
大音量で、又はイヤホン・ヘッドホンを使用して音楽等を聴く等安全な運転に必要な音又は声が聞こえない状態で自動車、原動機付自転車又は自転車を運転しないこと。
※罰則は法令により変更される場合があります。

2019年12月1日

クラクション
(警告音)

緊急走行車両

©ASUA Co., Ltd All rights reserved.

■ 参加者コメント（抜粋）

- 【事故について】
- ・ 隊列を組んでいても無理しても追いつかないので、自分は諦めてマイペースで走行する。
 - ・ 別会社と組む時は自分は結構入念に打合せや質問する。
- 【ワンポイントについて】
- ・ 道路冠水時は無理にはいかない。周りの乗用車やトラックが走行しているかなど、まずは安全に走行できるか状況確認をする。
 - ・ バンパーの高さまで水につかっており、走行するとマフラーやエアフィルターから水が入って車両が止まる可能性があるのも無理してまで行かない。
 - ・ 先週、大雨が降った日自分のルートで20cmくらい道路が冠水していたが、大丈夫かなと思ったが走行した。
- 【法定教育項目について】
- ・ 乗車前にお客様から連絡が入る場合があるが、運転中は電話は出ず安全な場所に止まってから連絡する。
 - ・ 車内や視界に物が入ると、運転の集中の妨げになるのであまり車内に物を置かないようにしている。

■ 所見

今回は8月、9月度に発生した事故について映像や画像などを確認し原因や対策などお伝えさせていただきました。また、異常気象時の対応についてはほとんどの方が無理しては走行せず、安全に止まって会社にまずは連絡するという回答が殆どでした。実車を用い、構内での切り返しトレーニングも実施いただき準備、指導等ありがとうございました。

4.管理者ミーティング

- 開催日 : 2025年 9月16日(火)
- 開催時間 : 14時00分 ~ 14時50分
- 参加者 長谷川社長、藤巻部長、野村氏、岩本氏、片桐氏
- 欠席者
- 議題 テーマ「構内実地トレーニング・異常気象時の対応」
 - ① ミーティング出席 欠席者フォローについて
 - ② 走行管理表の状況
 - ③ 燃費推移
 - ④ 事故推移
 - ⑤ 今回ミーティング内容 次回ミーティング内容

■ 議事録

No.	議題	内容
①	ミーティング出席 欠席者フォローについて	・ ミーティング出席：16人/16人（100%） ※別紙、出席リストを参照ください ・ 欠席者フォロー：無し
②	走行管理表の状況	・ 8月度走行管理表提出率：100% ・ 燃費記入：87.5%、月間燃費：100% ・ 目標燃費：80.0%、コメント：86.7% ⇒目標燃費はMTG内で次月の目標をドライバーと設定する
③	燃費推移	・ 全体燃費：3.57km/ℓ ※異常燃費無し ・ 各車両の走行管理表記入状況を配布
④	事故推移	・ 活動1年目（2025.3～ミーティング現在）事故総数4件 車両事故6件、その他事故0件 ※昨年同月対比2件減少 ・ 8月度：車両事故1件、9月度：車両事故1件（ミーティング時点） ・ 映像を基に原因と対策の共有実施
⑤	今回ミーティング内容 次回ミーティング内容	・ 今回ミーティング内容：異常気象時の対応、構内実地トレーニング ・ 次回ミーティング内容：道路交通法、常時運転・ヒヤリハットなどの映像共有

■ 所見

実車を用いての構内実地トレーニングの設営・指導誠にありがとうございました。今回、実地2回目でしたが全員、真剣に実施いただき非常に良かったと感じております。バックモニターなども実際の距離と目測がずれていた方もいたため、体験や経験で理解も深まってきたと感じております。定期的に計画を立てて実施できればと考えておりますので宜しくお願いいたします。

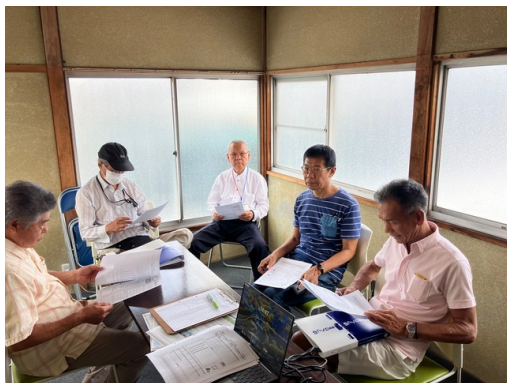
5.その他

■ 連絡事項

■ 配布資料

- ① キックオフミーティング議事録（本紙）
- ② ミーティングスライド
- ③ ミーティング参加者一覧
- ④ 走行管理表（11月分）
- ⑤ 事故集計表
- ⑥ 法定教育項目⑨交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処（穴埋め・解答）

■ 実施状況写真



■ 次回ミーティング日時

- ・乗務員ミーティング 2025年10月21日(火)
 15時00分～
- ・管理者ミーティング 2025年10月21日(火)
 14時00分～

～今月もお疲れさまでした。次回もよろしくお願いします～